

白井市健康づくり推進協議会

日時：令和3年10月26日（火）13:30～14:45

会場：市役所本庁舎4階 大委員会室

<要点会議録>

【次第】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 市長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 議 題
 - (1) 令和2年度保健衛生事業実績報告について
 - (2) 令和3年度保健衛生事業の取り組みについて
 - (3) 令和4年度保健衛生事業計画（案）について
- 6 その他
- 7 閉 会

【出席者】 瀬野会長、飯尾副会長、真木委員、呂林委員、甘利委員、押田委員、石井委員、尾見委員、加藤木委員、梨本委員
笠井市長、松丸健康子ども部長
事務局：佐藤健康課長、高瀬主査、渡邊主査、須藤主査、戸田主任保健師、荒木主任保健師、今井主任保健師、矢野(し)主任保健師、三笠主任保健師、金田栄養士、鈴木歯科衛生士

【欠席者】 小田川委員

【傍聴者】 0人

【内 容】（進行：事務局）

※会議運営の説明

白井市審議会等の会議の公開に関する指針の規定に基づき進行し、次の4点について承認を得る。

- 1 会議は公開が原則で、議題の全てについて公開する。
- 2 会議の開催は、事前に公表する。
- 3 先着順に5名まで傍聴できることとする。

4 審議概要を作成し公表するため、録音を行う。

※白井市附属機関条例第6条第2項の規定により、委員の出席数が過半数であるため、会議が成立する。

※配布資料の確認

会議次第、議題1～議題3、資料1-①～1-⑤、資料2

1 開 会

2 会長あいさつ

瀬野会長よりあいさつ。

3 市長あいさつ

笠井市長よりあいさつ。

4 委員自己紹介

5 議 題（進行：会長）

(1) 令和2年度保健衛生事業実績報告について

(2) 令和3年度保健衛生事業の取り組みについて

事務局より、令和2年度保健衛生事業実績報告及び令和3年度保健衛生事業の取り組みについて一括説明。

(質疑応答等)

委 員

各種健診に目標値を設定しているが、毎年増加させるのはなかなか難しい。歯周疾患検診対象者は、40歳、50歳、60歳、70歳の節目年齢の方だが、普段から定期的に来院してくる人が多い。受診率を上げるには、検診から足が遠のいている人をいかに受けさせるかが鍵になるのではないかと。

歯周疾患検診の内容は、普段の診察と重複し、診察として実施する場合もあるため、受診率向上につながっていないのかもしれない。

また、普段来院している人は、検診として実施した場合は自己負担金500円がかかるため、通常の診察の範囲内で実施している現状もある。

更に、新型コロナウイルス感染症のため、受診控えもあると思われる。対象年度には新型コロナウイルス感染症のため受診できなかった人に対して、翌年度も検診を受けられる配慮ができないかと。

事務局

歯周疾患検診の受診率は、全国的にも低い。口腔の健康と全身疾患との関係性の周知をしていくとともに、歯科医院では衛生管理を徹底しており、安心して診察を受けられることを伝えるリーフレットを作成し、受診票送付の際に同封して理解を深めて

もらう。かかりつけ歯科医を持つことについて、健康教育などの場で引き続き推奨していく。今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により検診受診を控えた人への救済措置について検討していきたい。

委 員

一般的に、市のことについての記載に留まっている。国や、関東エリアや、他市との比較がない。前年、その前との比較だけでは、よく分からず判断できない。比較ができず白井市の立ち位置がよく分からない。そのようなことも含めて資料を作成していただきたい。良いところも悪いところもある。良いところを真似し、悪いところの理由を考えることが必要だと思う。

委 員

私の手元には、印旛郡市の各市のデータや全国平均のデータなど分厚い資料があるが、今回の委員には、それは行き渡っていないのか。そのような資料があると思う。

事務局

国や県で同じように数値を明示している項目については、資料1-①～④のめざそう値の中に、国・県目標値と記載のあるものについては、比較することができる。がん検診など、どこの市町村でも実施している事業については、同表の右端、備考の欄に記載している。把握できる最新の数値のみであり、経年で国や県の値を記載しているわけではない。全ての数値をまとめて見られるような資料で提示できるものは今のところない状況。

委 員

今、公表している資料はどこかにあるか。

事務局

一覧で見られるものはない。今までの会議報告資料として、各年度の状況を見ることは可能となっている。

委 員

資料に細かく載せているが、抜粋している資料（資料1～3）の中に、「こういうデータが読み取れますので、白井市はこのような現状です」といったコメントのような記載がないと読み取ることが難しく不親切に思う。

そのような指標を、備考に書くなり、グラフ化して説明するようなことが必要だと思う。皆が見て分かるように努力することが欠けているのではないか。

資料を全部精査しきれない。この資料で委員が理解できないということは、市民も分からないのではないか。そのような点を分かりやすくしてほしい。

事務局

ご意見のとおり、比較ができないと、検討できずに終わってしまうこともあると思う。今後の資料づくりにおいては、比較可能なデータなどがある場合、表の下段や備考として記載する方向で検討していきたい。

委員

健康増進計画の中で、自殺対策が比較的最近加わった。計画策定の委員会を別に設けて検討した経緯もある。一般的には自殺は働ける人が自分で自分の命を絶つことを指すが、近年、高齢者の孤独死がすごく急増しており、白井市でも対策が必要な数字となっている。

孤独死についての対策は、しろい健康プランの中で考えていく内容にあたるのかどうか不明瞭だが、老人が孤独に亡くなっていくこと、一生を白井の地で終えるときに、少しでも良い状況に持って行けるかどうか問われていると思う。

孤独死には、自殺に近い要因も、全く異なる要因もあると思うし、尊厳死など本人が希望している死など、自殺と高齢者の孤独死を比較した場合、後者の方が多いのではないかと。提案として、今後検討いただきたい。

(3) 令和4年度保健衛生事業（案）について

事務局より、令和4年度保健衛生事業（案）について説明。

(意見等)

会長

先ほど委員から意見のあった、10歳刻みの歯周疾患検診における受診控えに対する方策は、可能であれば早急に実施した方が良く考える。対策が決まった場合、広報などで周知する方向で歯科医院と連携し、取り組んでいただきたい。

委員

歯周疾患検診が40歳、50歳、60歳、70歳が対象のうち、どこの年代が一番受診しないのか分析し、その結果として、例えば41歳になってもフォローするなど、受診しない人が受診するように仕向ける。そのためには40歳だろうが41歳だろうが、結果の集計や統計に基づいて集中爆撃をするような対策が必要なのではないかと。

報告については、課題に対する促進策をクリアにし、前に進めていくことが必要なのではないかと。

また、受診に限らず、イベントでも同じ人が繰り返し来ているのか、新規参加者が多いのかなど、取り上げて掘り下げることで今後どうするのが見えてくるのではないかと。データも含めて深掘りした報告がないと感じる。

会長

事務局からの説明をお願いします。

事務局

検診受診結果は、医療機関から市に報告がくるため、どのような人が受診しているか、新規受診者がどのくらいいるのか把握し、受診勧奨について検討していきたい。

会 長

その他、何かあるか。

他に意見がないため、議題1から議題3まで承認することとしてよろしいか。

～ 承認 ～

6 その他

事務局より、下記について委員に確認。

今後、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、オンライン会議開催も検討が必要になる場合がある。オンライン会議に自宅等から参加することの可否について意見を伺いたい。

委 員

設備としては可能だが、新型コロナウイルス感染症のまん延状況により場所の確保が困難となる。その都度、ご相談いただきたい。

会 長

今後の感染状況によるが、会議開催が必要となった場合に際し、オンライン会議も視野に入れておく必要がある。

参加方法としては、事務局が市役所に場所を確保し、そこで参加することも可能だと思う。各委員で参加が難しい場合は事務局に相談していただきたい。

7 閉 会

以上